

平成27年度
商工観光部各課所管の中小企業振興関連施策について

(1) 商業労政課

平成 27 年度の主な事業

■ 中小企業振興推進事業

- ・ 地域経済の発展と市民生活の向上のため、雇用の担い手である中小企業者を対象とした各種セミナーやアンケート調査を実施する。
- また、当審議会においては、各種中小企業振興策のご審議のほか、第 2 次北見市産業振興ビジョンの進行管理を行っている。

■ 融資制度預託金

- ・ 中小企業の育成振興と経営安定に寄与するため、事業運営の基礎となる金融の円滑化、正常化を目的として、北見市中小企業融資制度による 11 種類の融資を行っており、資金運用原資として、市内取り扱い金融機関に預託している。

< 利用状況 >

・ 新規貸付件数	24 年度	194 件	2,166,450 千円
	25 年度	126 件	1,782,440 千円
	26 年度	129 件	1,651,540 千円
・ 既貸付残件数	24 年度	617 件	5,690,635 千円
	25 年度	568 件	5,409,318 千円
	26 年度	558 件	5,024,378 千円

■ 融資信用保証料補給金

- ・ 経営安定革新資金及び緊急小口資金の借受者が、保証協会の保証付とした場合に保証料の一部補給を行う。

平成 20 年 12 月より経済対策として条件を緩和し、中小企業に対する支援を行っており、厳しい経済環境が継続しているとの判断から期間の延長を行っている。(平成 27 年 3 月 31 日までの時限的措置)

・ 補給実績	24 年度	46 件	6,340,483 円
	25 年度	28 件	3,141,936 円
	26 年度	38 件	5,383,575 円

■ 地域商店街振興対策事業

- ・ 商店街振興組合等が地域の賑わいを創出し、より魅力ある商店街づくりを目的として行うイベントや、活性化アドバイザーの招聘等に対し補助する。

■ まちなか賑わい創出事業

- ・ 商工会議所が中心市街地の空き店舗対策として行うアンテナショップ事業やチャレンジショップ事業など、商店街の賑わいの創出並びに活性化を図る事業に対し補助する。

■まちなか魅力向上支援事業

- ・商店街振興組合や商工会議所が中心市街地に賑わいを創出するために、空き店舗を利用したギャラリーの開設のほか、商店街の魅力を伝えるソフト事業と連携したまちなか回遊事業等に対し補助する。

■プレミアム商品券発行事業（H26繰越事業）

- ・国の地方創生・経済対策である「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用し、地域の消費喚起及び地域経済の活性化に寄与することを目的として、市内取扱加盟店で利用できるプレミアム付商品券を発行する。

【実施主体】 北見市プレミアム商品券発行事業実行委員会
(北見商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会、北見市)

【発行総額】 1,150,000,000円

【商品券の内容】 11,500円分を10,000円で販売する(プレミアム率15%)。

北見自治区	89,000冊	} 各区域のみで 利用可能
留辺蘂自治区	6,000冊	
端野・常呂自治区	5,000冊	

【購入限度額】 1人5冊(50,000円)まで

【販売期間】 平成27年8月22日(土)～平成27年8月28日(金)
※完売した時点で終了

【利用期間】 平成27年8月22日(土)～平成27年11月23日(月)

【協賛事業への支援】

市内商店街団体等がプレミアム商品券の発行事業に協賛してイベント等を実施する場合は、予算の範囲内で補助金を交付する。

- ・補助対象経費：広告宣伝費・報償費・物件費・事務費
- ・補助率及び補助限度額：対象経費の4/5、1事業の限度額は25万円

【販売場所】

自治区	場所	販売日	販売時間	
北見	まちきた大通りビル	8月22日	10時～18時	
	北見市民会館 相内地区住民センター 上常呂出張所 北見田園区間情報センター にっころ 北見総合卸センター	8月22日	10時～18時	
	端野	端野町物産センター	8月22日・23日	10時～18時
		きたみ市商工会本所	8月24日～28日	10時～17時
	常呂	常呂町公民館	8月22日・23日	10時～18時
	きたみ市商工会常呂支所	8月24日～28日	10時～17時	
留辺蘂	留辺蘂商工会議所	8月22日・23日	10時～18時	
	留辺蘂総合支所	8月24日～28日	10時～17時	
	温根湯温泉支所			

■北見地域季節労働者通年雇用促進協議会

季節労働者の通年雇用の促進に自発的に取り組む地域の関係団体で構成する北見地域季節労働者通年雇用促進協議会が策定した「雇用対策計画」の中から

通年雇用効果の高い事業を国が承認した上で、国からの委託事業として実施している。

- ・会 長 : 北見市商工観光部長
- ・構成団体 : 自治体 ……オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町
関係団体……北見商工会議所、留辺蘂商工会議所、きたみ市商工会、北見建設業協会など14団体

■北見市雇用創造協議会

雇用機会が不足している地域において、市町村や地域の経済団体等で構成する北見市雇用創造協議会が提案した雇用対策に係る事業構想の中から雇用創造効果や地域の雇用機会の増大が見込まれる事業を国が採択した上で、国からの委託事業として実施している。

【基本メニュー】

- 雇用拡大メニュー（事業主向けセミナー）
- 人材育成メニュー（求職者向けセミナー）
- 就職促進メニュー（就職面接会、就業促進情報提供事業）
- ※3年間で174人の就業者を目標

【実践メニュー】

- 地場産品を活用した新商品開発事業
- 新観光プログラム開発事業
- ※食関連産業、観光関連産業の活性化を図り波及的に雇用を拡大する。

- ・会 長 : 北見商工会議所副会頭
- ・構成団体 : オホーツク総合振興局、北見市、北見商工会議所、
北見工業大学オホーツク産学官融合センター、
中小企業基盤整備機構北海道本部、(公財)オホーツク地域振興機構、
(一社)北見工業技術センター運営協議会、
北見市観光協会連絡協議会

■北見市大卒者情報センター

市内企業等の人材確保を目的として、北見地域に就職を希望する大学生・専門学校生などに当センターに登録を行っていただき、就職に関する資料や企業情報などを提供している。

- ・会 長 : 北見市副市長
- ・構成団体 : 北見市、北見公共職業安定所、北見商工会議所、北見工業大学、
日本赤十字北海道看護大学

■労働状況調査事業

市内の民間企業における従業員の雇用状況を把握し、今後の労働条件等の改善や労働力確保・定着を図るため、賃金をはじめとした諸労働条件についての調査を毎年、実施している。

■雇用就業推進事業

・「ジョブサポートきたみ」の運営

求人情報の提供、就職・就業への支援、相談員による就職相談

利用状況 6, 103人 (H26年度)

併設機関

北海道 H16 ジョブカフェ北見 (北海道若年者就職支援センター)

若年者 (39歳以下を対象)

就職に向けたカウンセリング、セミナー、
就業支援システム 等

H24 ジョブサロン北見 (北海道中高年者就職支援センター)

中高年者 (概ね35歳以上を対象)

適職診断、カウンセリング 等

国 H25 ハローワークきたみ (北見公共職業安定所)

求職者に対する相談・指導、職業紹介

・地元企業採用支援事業 **新規事業 (H26繰越事業)**

地元企業説明会の開催や大卒者等への求職情報提供など、北見商工会議所や北見工業大学などと連携し、地元中小企業をはじめ求職者への支援を実施する。

■技能・ものづくり体験事業

技能・ものづくり離れを解消するために、技能・ものづくり体験を通じて、技能の振興を図る。

・ものづくり体験事業

浴衣和裁講座、ものづくり体験教室

・技能普及啓発事業

地域の食材を活用した新商品の開発や技術普及の講習会開催

平成27年度の主な予算計上項目

(単位：千円)

事業名	金額
中小企業振興推進事業費	1,252
融資制度預託金	2,570,122
融資信用保証料補給	6,182
地域商店街振興対策事業補助金	1,660
技能・ものづくり体験事業	2,935
北見市プレミアム商品券発行事業 (繰越明許費)	184,148
地元企業採用支援事業 (繰越明許費)	1,480

所管施設

- ・北見市働く婦人の家 (北見市女性センター)
- ・北見勤労者総合福祉センター (サントライ北見)
- ・北見中高年齢労働者福祉センター (サンライフ北見)
- ・北見地域職業訓練センター (スキルアップセンター北見)

(2) 工業振興課

平成 27 年度の主な事業

■北見市工業技術センター運営管理

木工、機械、金属等の地場企業に対する技術指導、研究開発等を推進し、工業振興を推進することを目的に昭和 57 年に市が設置した施設。

平成 16 年度より指定管理制度により一般社団法人北見工業技術センター運営協会により運営。

■企業立地活動の推進

推進組織：北見地域企業立地促進協議会

(会長：北見工大社会連携推進センター長 事務局：北見市)

昭和 45 年設立。大学・公設試験研究機関・民間企業等 15 団体で構成。

地域経済に高い波及効果をもたらす企業立地を積極的に促進し、活性化を図るため、企業立地に関する調査、研究及び情報の収集を行っている。

■企業訪問活動等

首都圏等の企業訪問予定件数 100 件（立地企業本社、その他企業など）

- ・現在訪問企業の IT 関連会社数社と北見進出について継続的に接触中
- 北見工大生の来年度採用について複数名内定している。

■工業団地・ハイテクパーク

ハイテクパーク立地促進補助金を活用し、積極的な誘致活動を展開している。

- ・分譲率：工業団地 99.7%、95 社 ハイテクパーク 41.0%、3 社、3 公的支援機関

■地域資源活用の推進（高付加価値化・販路開拓）

推進組織：北見市地場産品高付加価値化推進委員会

(委員長：北見商工会議所中小企業委員長 事務局：北見市)

平成 17 年 7 月設立。農協、漁協、商工会議所、行政機関等で構成。

当地域の豊富な農林水産資源を活用した加工製品の開発、及び大都市圏等への地場産品の販路拡大等の取り組みを支援する。

■産学官連携の推進

推進組織：北見市産学官連携推進協議会

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市、北見工業大学)

平成 16 年 5 月設立。商工会議所、大学、金融機関等 14 団体で構成。

産学官交流促進を目的としたビジネスセミナーや起業家育成支援セミナーなどを開催。さらに、北見工業大学の知見を活用し、地元事業者との共同研究開発事業を積極的に推進している。

- ・大学・公設試験研究機関との共同研究開発事業 56 件(H17-H26)
- ・連携構築補助事業 58 件(H19-H26)

■新エネルギー推進事業

推進組織：オホーツク新エネルギー開発推進機構

(会長：北見工業大学理事・副学長 事務局：北見市)

平成 14 年 5 月設立。市内の大学、エネルギー関係機関で構成。

平成 24 年度に策定した「北見市新エネルギー・省エネルギービジョン」に掲げる基本理念と推進プランの実現に向け、新エネルギーの普及・啓発事業を実施するとともに、産学官による共同研究を推進する。

平成 27 年度の主な予算計上項目 (千円)

企業立地推進費	29,000
北見地域企業立地促進協議会負担金	4,000
企業立地補助金	10,000
ハイテクパーク立地促進補助金	10,000
通信費低減化支援補助金	2,000
輸送費低減化支援補助金	2,000
I T企業進出支援補助金	1,000
工業技術センター運営管理費	53,418
工業技術センター運営管理費	53,418
オホーツク圏地域食品加工技術センター運営費補助金	26,687
地場産業振興費	4,000
地場産品高付加価値化推進委員会負担金	4,000
産業クラスター推進費	14,150
産学官連携推進協議会負担金	1,500
大学及び公設試験研究機関共同研究開発補助金	3,000
連携構築支援補助金	2,500
オホーツク産学官融合センター経費	5,800
北見工業大学社会連携推進センター推進協議会負担金	1,350
新エネルギー推進費	23,900
オホーツク新エネルギー開発推進機構負担金	3,400
住宅用太陽光発電システム導入費補助金	15,000
再生可能エネルギー活用推進事業費	5,500

所管施設

北見市工業技術センター（指定管理者：(一社)北見工業技術センター運営協会)

関連施設（運営費補助）

道立オホーツク圏地域食品加工技術センター（指定管理者：(公財)オホーツク地域振興機構)

関係イベント

■オホーツク「木」のフェスティバル（開催期間 H27年5月22～24日）

(3) 観光振興室

平成 27 年度の主な事業

第三次・新北見型観光推進プロジェクト（平成 25～27 年度）

■プロモーション関係

北見市全体のPR「シティプロモーション（セールス）」に観光関係団体とともに取り組み、各種プロモーション活動・外客誘致・受入れ体制の充実を図っている。

- ・山の水族館来場者の市内滞在時間の延長と市内への誘客をめざし、昨年引き続き4月29日より道の駅に観光案内所を開設。
- ・ひがし北海道観光事業開発協議会主催の旅行商談会（札幌・東京エージェント対象）などへの参加。
- ・地方創生交付金を活用したプロモーションの実施。
- ・観光庁との連携として、外国人向け消費税免税制度に関する情報収集や、関連施設への情報提供を行う。
- ・札幌市など道内中核都市との連携事業として、6都市スタンプラリー「トク旅北海道」を昨年引き続き実施し、道内客の周遊を促進する。
- ・大雪国道を通じた上川町との事業では、層雲峡温泉などとの相互誘客を目指した観光展開を行う。
- ・管内での連携として、オホーツク総合振興局主催のオホ・キャラ隊へ参加し、オホーツクのPRを行う。
- ・観光協会や自治区と連携し、外国語対応パンフの改正や、案内看板の設置を進める。
- ・着地型観光情報の発信として、るるぶFreeのパーキングエリアなどでの配布や、女満別空港での北見景観映像の上映。
- ・アドヴィックスカーリングホールは、スポーツ施設として市内小中学校の利用を伸ばし、底辺の拡大を図るとともに、体験型観光素材としても魅力があり、夏季はオフシーズンとなることから、修学旅行や社員旅行として旅行商談会やふるさと会に対しPRを行う。

■コンベンション関係

各種学会・イベントの誘致活動として、北海道コンベンション誘致推進協議会などと連携し、各種団体や大学関係への誘致活動を実施、本年開催の主な大会としては、第51回日本赤十字社医学会総会並びに電気・情報関係学会北海道支部連合大会などが開催されます。

■観光関係

- ・北見菊まつりなど三大祭りやファミリーランド等の運営と、ぼんちまつりなどへ事業補助。
- ・北見観光大使の任命や、観光大使やふるさと会への情報提供並びに情報交換。

- ・北見工業大学と山の水族館施設管理者が、山の水族館の展示方法などの共同で研究を行っている。

■物産関係

市内企業の百貨店への出店サポート

道外の主要百貨店で開催される「北海道観光物産展」（北海道などが主催）などでの地場企業出店のサポート、北見のPRを実施している。

- ・道外の主要百貨店で開催される北海道等主催の「北海道の観光と物産展」は全国で 35 会場、その内北見市の主催会場として東武池袋百貨店や山形屋百貨店など 21 会場を選定し、地場企業から出店している企業のサポート及び北見のPRを行うべく、観光パンフやポスターの提供をする。
- ・道外百貨店が北見デーを設け、独自に北見市をPRいただける場合、人的派遣や来場者記念などの特産品の提供をする。
- ・北見独自の物産展として、菊まつり会場にてきたみ物産まつりや、物産においても姉妹都市連携している高知市においてオホーツク北見フェアを開催する。

平成 27 年度の主な予算計上項目

自治区	名 称	金額(千円)
北 見	新北見型観光推進プロジェクト	48,600
	観光案内所委託料（北見駅・※温根湯）	4,936
端 野	グリーンクアパーク運営管理費	32,495
常 呂	森林公園運営管理費	11,051
	サロマ湖ワッカネイチャーセンター費	15,060
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉運営管理費	2,314

主な所管施設

自治区	名 称	備 考
北 見	北見ファミリーランド	
	北見市自然休養村センター	
	北見市菊花試験栽培センター	
端 野	グリーンクアパーク	のんたの湯、パークゴルフ場
	物産センター	端野駅
常 呂	常呂町森林公園	パークゴルフ・記念塔
	常呂常南ビーチ	
	手工芸の館	
	ワッカネイチャーセンター	サロマ湖
留辺蘂	道の駅おんねゆ温泉	山の水族館
	滝の湯ふれあいの里	

平成 27 年度「道の駅おんねゆ温泉観光案内所」の開設状況について

- 1 名 称 道の駅おんねゆ温泉観光案内所
- 2 住 所 北見市留辺蘂町松山 1 番地 4 (道の駅おんねゆ温泉クリーンプラザ内)
- 3 開設期間 平成 27 年 4 月 29 日 (火) ～11 月 1 日 (日)
- 4 開設時間 午前 10 時～午後 4 時
- 5 設置主体 北見市
- 6 設置目的 留辺蘂自治区をはじめ、北見、端野、常呂など地域の食や観光情報を提供し、観光客の滞在時間の拡大とともに、北見市並びにオホーツクエリア、道東地域への誘客を促進。
- 7 活動内容 ①市内及び道東地域の観光パンフレット等の配備
②市内の飲食店及び観光施設、宿泊施設、イベント、交通情報の案内
③オホーツクエリアの観光協会及び観光案内所との連携等による広域観光案内
- 8 平成 26 年度利用者数
利用者数：11,333 人うち外国人観光客 220 人 (1 日平均 60 人)
4,5 月 1,565 人、6 月 1,282 人、7 月 1,947 人、
8 月 2,716 人、9 月 2,139 人、10,11 月 1,684 人
主な案内事項としては、イベント・観光施設・飲食店やパンフレット配布、スタンプラリーなどであり、来所者の傾向として平日はシニア層の男女と、週末はファミリー層となっている。
- 9 Wi-Fi 環境等
観光客が自由に観光情報を入手できるようタブレットを設置した。
なお、案内所に無料Wi-Fi環境を整備し、観光客が個人のスマホ等で高速で情報を入手できるようしたほか、外国人観光客へも個人のWi-Fi端末が2週間利用可能となっている。
なお、外国人は専用の「ID/PASSカード」が必要なことから、今後、オホーツク総合振興局からの交付を受け、ドライブ観光を楽しむ外国人観光客にも便利なエリアづくりをすすめていく。